



指導班だより

今回は、7月4日（水）に訪問した川崎町立川崎小学校4学年国語の授業を紹介いたします。「思いや考えを豊かに表現する児童の育成」という研究主題のもと①言葉を正しく理解させるための学習活動の工夫②考えを共有する方法の工夫③言葉の力を高める学習環境の工夫の3つの視点で実践を進めています。ワークシートを工夫して主人公の気持ちについて、友達と考えを共有し、読みを深めることができました。

川崎町立川崎小学校 4年 国語 人物の変化をとらえよう「走れ」

- 事例のポイント→自分の考えを持ち、ペアで友達と共有
- ①サイドラインやワークシートにより考えを確実に持つ。
 - ②ペアで主人公の気持ちを伝え合い、考えを深める。
 - ③児童の気持ちの可視化（気持ちグラフ・ネームカード）

授業を支えるもの

- 日常的な音読・読書の指導
- 単元問題ライブラリーの活用
- 5つの提言の自校化

<本時の指導案概要>

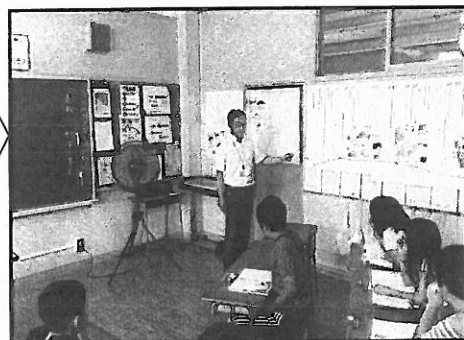
<目標> 第三場面後半の「のぶよ」の気持ちを想像しながら読んでいる。

指導過程

段階	主な学習活動 発問(○)、児童の反応(●)	留意点(●) 研究との関わり<視点> 評価(□) 学力向上の提言【提言】
導入 5分	1 本時の学習課題を確かめる。 三場面後半の「のぶよ」の気持ちを読み取る。	・掲示物「学習計画」をもとに、本時の学習課題を確実にとらえさせ、本時の学習について見通しをもたせる。【提言3】
展開 32分	2 第三場面後半 (P57 L13~P60 L13) を音読する。	・「のぶよ」の気持ちに分かる言葉に注意させながら、各自のペースで音読させる。
	3 本文中から、のぶよの気持ちに分かる言葉を探し、気持ちを想像する。 (1) のぶよの気持ちに分かる言葉に、サイドラインを引かせる。 ○ のぶよの気持ちに分かる言葉に、サイドラインを引きましょう。 (2) のぶよの気持ちに分かる言葉と、その言葉から想像したのぶよの気持ちをワークシートに書かせる。 ○ サイドラインを引いた言葉のうち3つを選んでワークシートに書きましょう。また、その言葉から想像したのぶよの気持ちを書きましょう。 ・ 思わず、ぎゅんと足が出た。 (ようし、がんばって走るぞ。) ・ いろんな思いが、するするとほどけていった。 (気持ちが楽になったぞ。) ・ どこまでも走れる気がした。 (もっと走っていたいな。) ・ ラストという言葉が、こんなにほこらしく聞こえたことは、初めてだった。 (全力を出せば、びりでもいいんだ。) ・ 「おなか、へったよう。」 (そういえば、昼ごはん食べていなかったんだ。) ・ 走りながらわらった。わらいながら走り続けた。 (走って楽しいな。家族っていいな。)	・ 本文にサイドラインを引いたり、ワークシートに書き出したりする活動を取り入れることで、一人一人の考えを確実にもたせるようにする。<視点1>【提言4】 ・ ワークシートに書き出す事柄を3つに絞ることで、「のぶよ」の気持ちがより強く表れている言葉を選ばせる。 ・ 机間支援を行いながら、一人一人の学習の様子を把握し、全体での共有の場を生かす。 ・ 考えがもてない子に対しては、「のぶよ」の行動や会話に着目するように声掛けしたり、具体的に段落番号を示したりすることで、自分の考えを確実にもたせるようにする。【提言1】 読む 本文中の言葉をもとに、「のぶよ」の気持ちを想像しながら読んでいる。 (ワークシート)
	4 想像したのぶよの気持ちを、互いに共有する。 (1) 隣の席同士でペアを組み、本文中の言葉から想像できるのぶよの気持ちを伝え合わせる。 ○ 自分の考えを、となりの子に伝えましょう。 良いと思った友達のことをワークシートに書き加えましょう。 (2) 本文中の言葉から想像したのぶよの気持ちを全体に発表させる。 ○ のぶよの気持ちに分かる言葉とその言葉から想像したのぶよの気持ちを発表しましょう。	・ 掲示物「ペア学習の進め方」をもとに、互いの考えを伝え合わせる。 ・ 良いと思った友達の話は、「いいね！」マークを使ってワークシートに書き加えさせる。<視点2> ・ 発表された考えは、本文中のどの箇所(段落番号)なのかを確認し、その箇所を全体で音読する。 ・ 発表された考えを板書することで、考えを可視化し、全体で共有する。<視点2>

<授業の実際・生徒の様子>

<導入> 掲示物「学習計画」をもとに、学習課題と見通しを持たせる。
・ 気持ちの変化をグラフ化する。

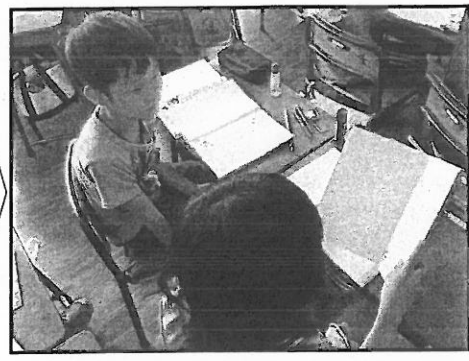


<展開> サイドラインを引いた言葉のうち3つを選んで、主人公の気持ちをワークシートに書く。
・ 書きやすいワークシート
・ ほとんどの児童が全部記入する。



	<p>・本文中の言葉から想像した「のぶよ」の気持ちを、多くの児童に発表させることで、自分の考えを深めさせる。 <視点2></p> <p>・取り上げたい考えが発表されなかった場合は、意図的に指名し発表させることで、よい考えを全体で共有する。 <視点2></p> <p>・児童の発表の後、読みを深めるための投げかけをし、叙述に即して「のぶよ」の気持ちを考えさせる。</p> <p>・「けんじ」や「お母ちゃん」の行動について適宜触れるようにし、二人の気持ちについても考えさせる。</p> <p>読む 本文中の言葉をもとに、「のぶよ」の気持ちを想像しながら読んでいる。(発言)</p> <p>・三場面後半ののぶよの気持ちの変化について考えさせ、「気持ちグラフ」として黒板上に表すことで、本場面で、急に明るく前向きに変わるのぶよの気持ちをとらえさせる。</p>
	<p>(3)のぶよの気持ちの変化を、グラフに表す。 ○のぶよの気持ちがどのように変わったかを、「気持ちグラフ」に表しましょう。</p> <p>(4)様々な考えを振り返り、自分の考えを再確認する。 ○自分が一番「いいね！」と思った考えのところに、ネームカードを貼りましょう。 <視点2></p>
まとめ 8分	<p>5 本時の学習をまとめる。 (1)本時の学習を振り返り、学習感想を書かせる。 ○今日の勉強を振り返って、感想を書きましょう。</p> <p>(2)学習感想を発表させる。 ○感想を発表しましょう。</p> <p>・ペアや全体での話し合いから学んだことを中心に学習感想を書かせ、本時の学習を振り返らせる。 [提言3]</p> <p>・挙手による指名の後、取り上げたい感想については意図的に指名し発表させる。 <視点2></p>

<展開>ペアでの話し合い
・良いと思った友達の考えは「いいね！」マークを使用して記入



<展開>ペアでの話し合いの結果を発表し、主人公の気持ちを考える。
・意図的指名と積極的な発言
・見やすい板書計画
・気持ちグラフとネームカードを貼り一人一人の読みを認め励ます。

板書計画

走れ
村中 李衣

三場面後半の「のぶよ」の気持ちを
読み取ろう。

① 思わず、ぎゅんと足が出た。
・ ようし、がんばって走るぞ。

② いろんな思いが、ほどけていった。
・ 気持ちが楽になったぞ。

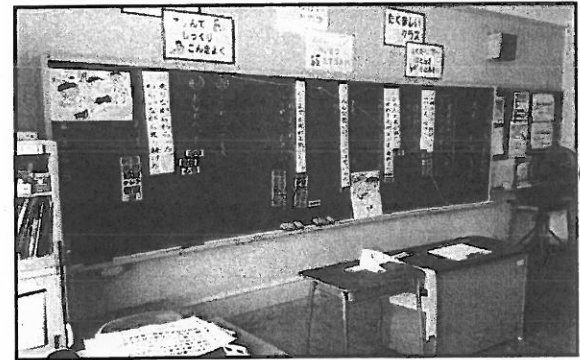
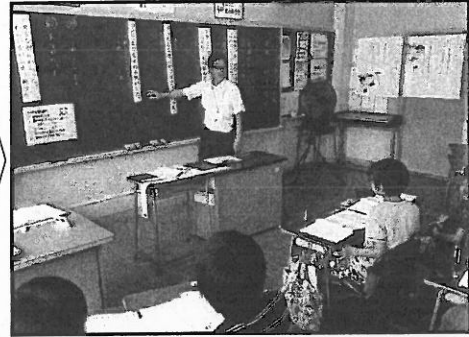
③ どこまでも走れる気がした。
・ もっと走っていたいな。

④ ラストという言葉が、ほこらしく
・ 全力を出せば、びりでもいいんだ。

⑤ 「おなか、へったよう。」
・ 星ご飯、食べていなかったんだ。

⑥ 走りながらわらった。わらいながら
・ 走り続けた。
・ 走らなくて、楽しいな。
・ 家族って、いいな。

⑦ 「のぶよ」の気持ちが、急に明るく
・ 変わっていくことが分かった。



自分が一番「いいね！」と思った考えのところにネームを貼って自分の考えを再確認する。

「学力向上に向けた5つの提言」を指導過程の中に位置づけていました。
○中心となる人物の気持ちを読み取る学習では、ワークシートを活用し自分の考えを記入する欄を設けたり、机間指導の際に、個に応じた適切な声掛けを行ったりすることにより、自分の考えを一人一人確実に持たせるようにする。【提言1】【提言4】

○授業の導入段階では、本時の学習のめあてを明確に提示し、見通しを持って課題解決を図ることができるようにする。また、終末段階では、本時で学んだことを振り返って学習感想を書く時間を確保していくようにする。【提言3】